

とよた 社協だより

WELFARE INFORMATION

令和8年5月発行
第181号

社会福祉法人
豊田市社会福祉協議会
〒471-0877
愛知県豊田市錦町1-1-1
TEL (0565) 34-1131
<https://toyota-shakyo.jp/>



すべての人々がともに助け合い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくり
社協会費にご協力をお願いします

「豊田市社会福祉協議会(社協)」とは?

Instagram
チェック!!

地域における社会福祉の推進を図るため、地域住民と協働して、すべての人が互いに助け合い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくりを目指す「公共性」「公益性」の高い民間組織です。



@TOYOTA_SHAKYO

障がい理解するための
実践教室



地域ふれあいサロンの支援



会費の主な使い道を
ピックアップ!

とよた市民福祉大学 市民公開講座



6/13(土)

市民公開
講座開催!!

◀詳細はコチラ



福祉車両・車いすの貸出

社協会費について

社協は皆様から寄せられた会費、寄付金等の民間財源、市や県社協の委託料等の公的財源で運営しております。
社協の活動にご賛同いただける場合には、ぜひ会員としてご協力をお願いします。

* 普通会員：300円以上 1,000円未満(300円未満は協力費として受領させていただきます。) * 賛助会員：1,000円以上

- 普通会員・賛助会員世帯が火災等により被災された場合には、会員見舞金を加算します。
- ご協力は強制ではありません。
- ご協力いただいた会費は、所得税法第78条の寄附金控除の対象となり、「個人領収書」により、税制上の優遇措置が受けられます(詳細は税務署等にご確認ください)。
- 個人領収書をご希望の方は、事前に右記問合せ先までご連絡ください。【問合せ先 総務課 TEL:34-1131】

第3次豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画(令和8年度~13年度)を策定しました!

本計画は、地域共生社会の実現を目的に、地域福祉の推進に向けた方向性と取り組むべき内容を示すものです。人と人とのつながりを大切に、助け合い・支え合える関係づくりを進めながら、住民、地域団体、事業者、企業など多様な主体が共働して、地域全体で日常の暮らしを支える仕組みと役割を明確にした計画です。

詳細は、右記QRコードから、もしくは本会HPからご覧ください。





令和8年度 豊田市社会福祉協議会

豊田市社会福祉協議会は、「子どもから高齢者まですべての人々がともに助け
豊田市民をはじめ自治区、民生委員・児童委員、地区コミュニティ会議、学校、ボラン

支え合いの地域づくり

4億0,983万円

誰もが自分らしく生きられる社会を目指し、困りごとのある方々を地域の中で支えていく仕組みづくりを、市民の皆様をはじめ関係機関と共に行います。また、身寄りを頼ることができない方への支援や金銭管理などの、生活面での支援や地域とのつながりを促進します。

具体的な取組の一部



CSWって何？

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)は、多機関と協働し、地域課題解決に取り組む専門職です。個人に対する相談を行う**個別支援**と、お互いに助け合える仕組み、ネットワークを構築するといった**地域支援**を行います。

CSWによる地域づくり

- 地域づくりミーティングの開催
- 地域づくり企画支援のための協議体の開催
- 地域住民や団体への福祉講話や体験会の実施 など

困窮する世帯等への生活応援

- 生活困窮者自立支援の充実
- 生活応援事業の実施
- 無料職業紹介事業の実施 など

子どもや子育て世帯の応援

- 高校生等就学応援金の支給
- 子ども応援ギフトの配布
- 学習支援事業の実施 など

くらしの安心とつながりづくり

- 身寄りを頼ることができない方への支援(結サポート～くらし安心事業～)の実施
- 生活支援員の派遣
- 日常生活自立支援事業 など

地域福祉の担い手づくりとネットワーク強化

地域福祉人材の育成と活躍支援の拡充を目指して、ボランティアセンター、とよた市民福祉大学等による地域福祉以外の分野とも連携できる協議体としての役割を強化します。



〈災害ボランティアコーディネーター養成講座の様子〉

具体的な

地域人材の育成・仕組みづくり・活躍支援

- 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催
- とよた市民福祉大学の開講
- ボランティア講演会・講座の一体的開催
- 障がい理解のための実践教室

法人基盤の強化

6億7,342万円

本会の事業や理念を、より多くの市民の皆様にご理解・ご協力をいただくことで、安定的な事業継続ができるよう法人基盤を強化します。また、豊田市から指定管理を受けている9施設を地域福祉の活動拠点として、市民の皆様へ安全・安心に利用していただけるよう、サービスの向上に努めます。

具体的な取組の一部

法人運営の強化

- 業務改善の促進(事務の効率化、働きやすい環境づくり)
- 人材の育成と確保(研修の充実、有資格者の確保)
- 財源の確保(自主財源の確保、情報発信) など

地域活動拠点の機能の充実

- 指定管理施設の管理
- 指定管理施設を活用した地域福祉活動の推進
- 感染症、災害時等の事業継続計画の定着化 など

事業計画及び収支予算の概要



「安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくり」を、ティア、福祉団体、企業及び豊田市行政等の関係の皆様と共に進めています。

相談・支援の充実

12億2,930万円

住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、支所地域で取り組む在宅福祉サービスの継続的な提供や、高齢者・障がい者・子どもを含む市民の皆様のような生活上の相談に応じます。また、課題解決に向けて関係機関と綿密に連携をしながら、相談者が自立した生活を送れるよう支援します。

具体的な取組の一部



〈とよた市民後見人養成講座の様子〉

高齢者の相談支援

- 高齢者の総合相談と支援
- 介護保険やその他サービスとの連携や調整
- 認知症の方とその家族の支援や早期発見に向けた支援体制の構築 など

障がい者の相談支援

- 福祉サービス等の相談と支援
- 中山間地域の障がい者相談支援事業の実施 など

権利擁護支援

- 成年後見制度利用の相談支援
- とよた市民後見人養成講座の実施 など

在宅福祉サービスの提供

- 安全・安心で質の高い介護・障がい福祉サービスの提供
- 中山間地域におけるサービス提供の継続 など

1億3,859万円

福祉の担い手づくりと多様な主体と連携した地域人材と専門人材をつなぐ仕組みづくりを推進します。また、

取組の一部

地域人材と専門人材の橋渡し

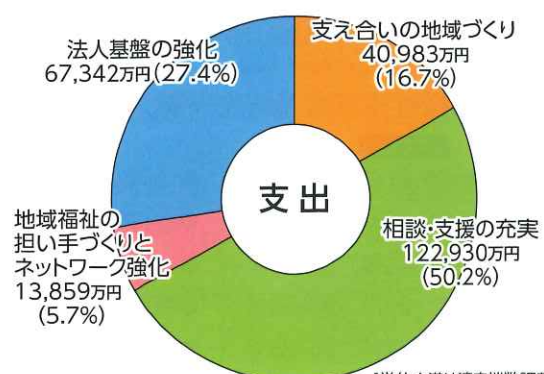
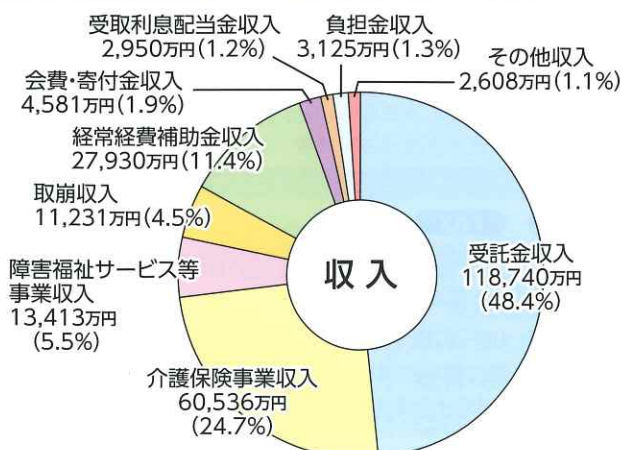
- ふくしの仕事体験事業の実施
- ふくしの担い手づくりに関する情報掲示板の設置 など

専門人材の育成支援

- 介護職員初任者研修の実施
- ふくしの仕事相談会の実施 など

収支予算 総額 24億5,114万円

※内部の資金移動分を除く
※前期繰越金を除く



[単位未満は適宜端数調整を行っています]

ぼらんていあだよりが リニューアル!!

4ページから...



★新コーナーに注目★

- ・ボランティア募集情報
- ・応募コーナー
- 「写真でひとこと」など



ぼらんていあだよりが令和8年1月号からリニューアル!

ボランティアをやってみたい方、興味はあるがどうしたらいいかわからない方が年代を問わず手に取り、ボランティア活動への意欲が湧くような広報紙です!

奇数月発行となりますので、次回の発行は7月です。

お楽しみに!

▼設置場所ははこちら

社協支所・出張所のボランティアセンター

ホームページ「ぼらんていあ広場」⇒

※希望する自治区での回覧も行っています



ボランティア作業も
メニュー充実!
作業日はこちら



・使用済み切手等整理作業 (使用済み切手の周りを切る作業、ベルマークを切り取って仕分ける作業)

5月8日(金)、6月4日(木)、7月2日(木) 午前10時~正午

・ぼらんていあだより発送作業 (たよりを数えて封筒に入れる作業)

6月25日(木) 午前10時~正午

・誰かの役に立つ作業 (子どもの居場所等で使うものを新聞紙で作る作業)

5月28日(木)、7月30日(木) 午前10時~正午

開催場所: 豊田市福祉センター3階交流コーナー



ボランティアセンター
Instagram

問合せ先 つながり応援課 TEL: 31-1294 FAX: 33-2346 MAIL: vc@toyota-shakyo.jp

ご寄付ありがとうございました

【令和7年11月1日~令和8年1月31日の寄付者一覧】 順不同、敬称略。 ※一部期間外に受付をした寄付者の掲載あり

※掲載者以外にも匿名で多くのご寄付をいただきました。掲載名は、寄付者の意向に沿って掲載しています。

＜社会福祉協議会への寄付＞ 手芸グループ、豊田市高年大学10期生匿名、岡本修司、お助け隊たのんでみりん、一般社団法人モビリティレレッジ(清算法人)代理清算人 江崎研司、公益社団法人豊田市シルバー人材センター藤岡支所、鈴木孝典、藤岡地区高齢者クラブ連合会、長谷川敦男、大澤敏之、豊南交流館募金箱、梅田康司、安藤君衛、トヨタ生活協同組合、大岩由梨枝、NPO法人とよたエコプロジェクト、公益社団法人豊田法人会女性部会、磯谷公明、豊田市教育自主研究グループ(音楽)、シルバー人材センター募金箱、豊寿園募金箱、加藤佳久、胸形神社氏子代表、日本発条労働組合豊田支部、眞野年之、藤岡南地区高齢者クラブ連合会

＜子ども基金としての寄付＞ 中京大学児童福祉活動部チルドレンパルーンアート「キュート12」、宗心洞公園フェスタポディペイント、豊田市管工事業協同組合、塚本久子、片山智美子、林テンプ株式会社、一般社団法人みつわ、フタバ産業株式会社緑工場、えびるんフーズ株式会社、河合岳史、もぐもぐ藤岡店、上郷地区コミュニティ会議二十歳のつどい実行委員会、保見地区コミュニティ会議

＜地域福祉活動基金としての寄付＞ 金谷金寿会、もみじの里農園

＜権利擁護基金としての寄付＞ チャレンジ大平Σ、白石社会保険労務士事務所、田中順子

＜生活困窮支援への寄付＞ 株式会社小糸製作所労働組合

＜物品の寄付＞ トリニティ工業株式会社、公益財団法人豊田地域医療センター、倉知、末野原地区コミュニティ会議、保見コミュニティ福祉部会、安藤哲子、株式会社善都、もぐもぐ藤岡店、細野恵哉、大豊工業株式会社、豊田信用金庫

義援金へのご協力ありがとうございました

【令和7年11月1日~令和8年1月31日の寄付者一覧】 順不同、敬称略。

※掲載者以外にも匿名で多くのご寄付をいただきました。掲載名および送金先は、寄付者の意向に沿って掲載しています。

＜期間中に受け付けた義援金名称＞ 令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金、令和6年能登半島地震災害義援金、ウクライナ人道危機救援金、令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金、令和7年台風第15号災害静岡県義援金、令和7年台風第8号に伴う災害義援金、令和6年9月能登半島大雨災害義援金＞

ふれあいまつり焼いも班、益富ふれあいまつり実行委員会、末野原地区コミュニティ会議、末野原地区高齢者クラブ連合会、福祉センター義援金箱、たかねふるさとまつり、愛知県立豊田西高等学校、梅坪台交流館募金カフェ、梅坪台ふれあいまつり実行委員会募金カフェ、前林地域ふれあいまつり実行委員会、旭支所義援金箱、豊田市赤十字奉仕団、稲武支所義援金箱、豊寿園募金箱、シルバー人材センター募金箱、豊田市稲武福祉センター、よつば会、吉田千恵美、小原交流館義援金箱、ふくしの里義援金箱、松井義夫、ロビー朝市、ようこそおばら委員会

※寄付者名は、寄付者の意向に沿って本会ホームページでも掲載しております。併せてそちらもご覧ください。

※掲載内容の中には受付を終了している義援金が含まれている場合があります。最新の情報については、本会ホームページまたは日本赤十字社ホームページをご確認ください。

＜豊田市社会福祉協議会連絡先一覧＞

	TEL	FAX		TEL	FAX		TEL	FAX
●総務課(豊田福祉センター)	34-1131	32-6011	●上郷出張所	41-5088	41-5099	●旭支所	68-3890	68-2801
●つながり応援課	31-1294	33-2346	●猿投出張所	41-3082	41-3083	●足助支所	62-1857	61-1115
●相談支援課	32-4341	33-2346	●高岡出張所	85-7720	85-7733	●稲武支所	82-2068	82-3604
●くらし応援課	31-9671	33-2346	●高橋・松平出張所	85-1120	85-1122	●小原支所	65-3350	65-3705
●障がい者総合福祉会館	34-2940	35-2833	●豊寿園	27-2200	28-7343	●下山支所	90-4005	90-2419
						●藤岡支所	76-3606	76-3608